

(2) 東北



東北地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きが見られる。
- ・ 個人消費は足踏みが見られる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

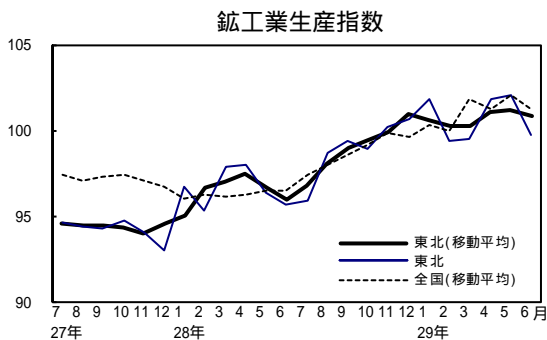
前回調査からの主要変更点

	前回(平成29年5月)	今回(平成29年8月)	
住宅建設	大幅に減少	減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直しの動きが見られる。

4～6月期は、電子部品・デバイスは、需要に一服感が見られたことなどからコネクタ、シリコンウエハ等が減少した。はん用・生産用・業務用機械は、半導体需要の高まりにより半導体製造装置等が増加した。食料品・たばこは、生菓子等が減少した。情報通信機械は、産業用テレビ装置等が増加した。輸送機械は、自動車用エンジン、機関部品等で減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

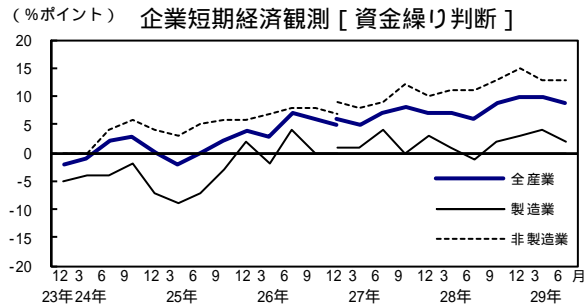
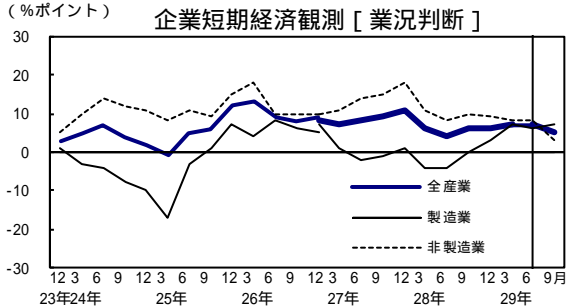
	付加価値 ウェイト	生産				
		1～3 月期	4～6 月期	4月	5月	6月
電子部品・デバイス	16.9	0.8	4.0	1.9	3.2	2.0
はん用・生産用・業務用機械	14.7	1.0	8.9	12.3	0.4	8.0
食料品・たばこ	10.6	1.0	3.7	4.2	6.9	7.2
情報通信機械	9.2	2.6	2.3	2.3	2.8	3.6
輸送機械	8.3	5.2	1.6	7.4	13.8	6.6
鉱工業	100.0	0.3	1.0	2.3	0.2	2.3

(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 4～6月期、6月は速報値。

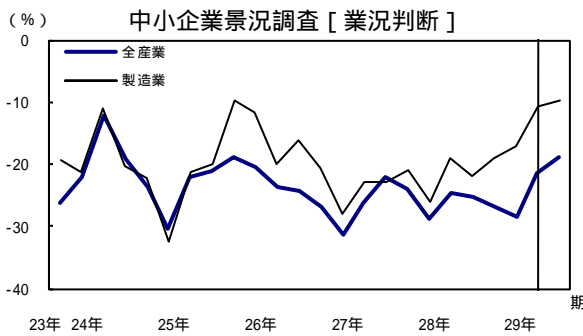
(2) 業況判断は「良い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年9月は予測。26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。26年12月は新・旧基準を併記。

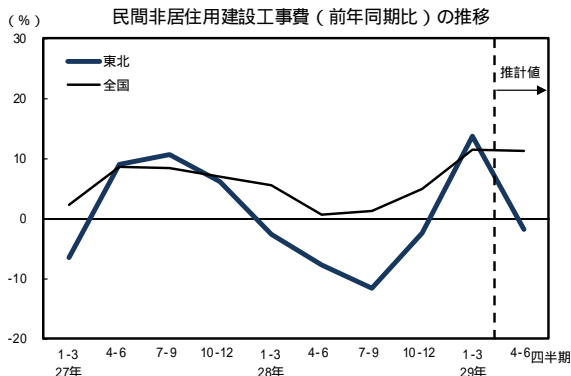


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(7月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「地域間格差は顕著であるものの、東北全体としては、出荷量の前年同月比が微増となっている(窯業・土石製品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は減少している。



企業短期経済観測調査[設備投資(6月調査)]

	前年度比、%	
	28年度実績	29年度推
全産業	15.9(2.4)	1.4(2.8)
製造業	22.3(2.6)	3.3(2.5)
非製造業	9.3(2.1)	0.7(9.9)

(備考) ()は前回(3月)調査比修正率。

(備考) 29年4-6月期は国土交通省「建設統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比1.0%増、5月は同0.1%増、6月は同0.1%増となった。

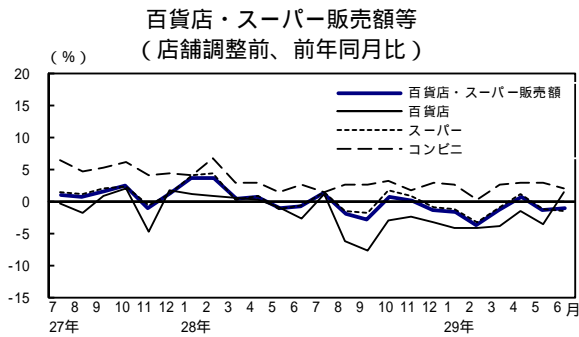
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、紳士ビジネスなどの衣料品、総菜や菓子などの飲食料品がふるわなかったことに加え、その他商品での前年の大型特需の反動減で、前年を下回った。5月は、初夏物衣料やアクセサリなどの身の回り品がふるわなかったことに加え、飲食料品での物販催事の不振などにより、前年を下回った。6月は、紳士スーツや婦人ワンピースなどの夏物衣料がふるわなかったものの、化粧品の好調に加え、高級腕時計や美術品などの高額品に動きが見られたことから、前年を上回った。

スーパーは、4～6月期は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「客の動きが活発であり、特にビールなどのアルコール商材の消費が高まっている。客単価も若干であるが上がってきており、消費に対する改善がみられている (高級レストラン)」など「やや良くなっている」とする回答が増加した。

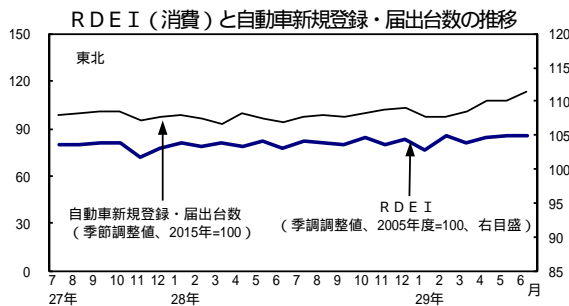


	29年4-6月	29年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.0	1.0	0.1	0.1
百貨店・スーパー(*2)	0.6	0.7	1.5	1.1
百貨店(*2)	1.2	1.4	3.6	1.5
スーパー(*2)	0.5	1.1	1.1	1.6
コンビニ(*2)	2.6	3.0	2.9	2.0
乗用車(*3)	13.3	7.6	12.3	19.3
(季節調整値)(*3)	10.7	6.7	0.2	5.1

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

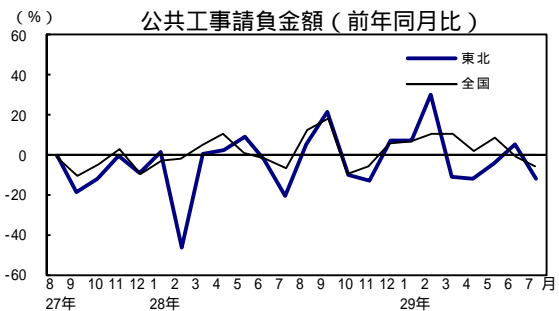
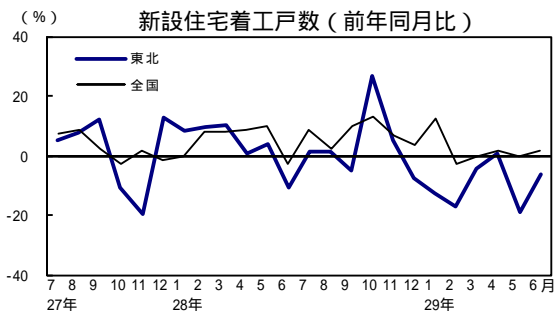
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は減少している。

持家、貸家が前年を下回ったことから、全体では減少している。

(3) 公共投資は29年度累計で見ると前年度を下回っている。

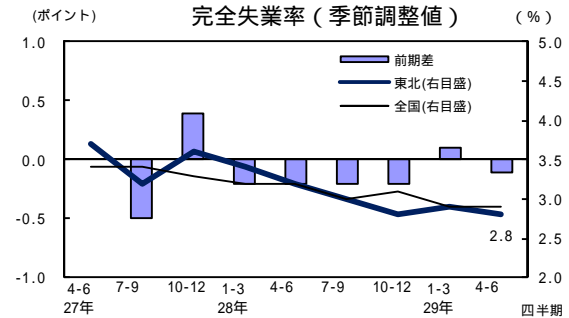
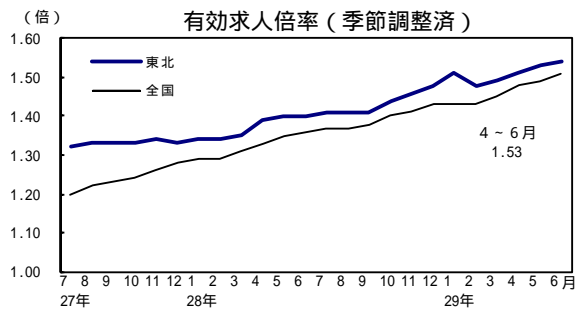


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [雇用関連 (現状)]

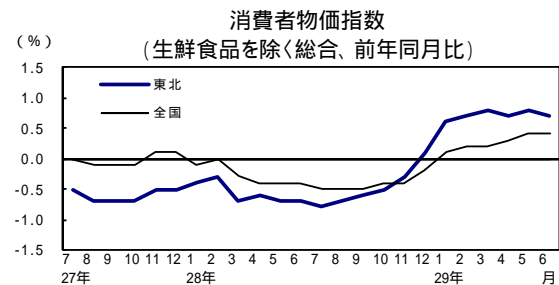
「求職者そのものは減ってはいないが、ミスマッチが多い状況が続いている(人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の上昇幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年7-9月	10-12月	29年1-3月	4-6月	29年7月
倒産件数	79	90	69	82	31
(前年比)	23.4	11.1	20.7	10.9	19.2
負債総額	181	174	150	126	66
(前年比)	17.6	34.2	16.0	37.5	84.0



景気ウォッチャー調査 (7月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・例年以上の暑さにより、シャツの買い足しや、夏用のスーツや礼服など、夏物需要が非常に喚起されている。来客数も増加しており、順調に推移している(衣料品専門店)。

<先行き>

・求人関係では、新卒応募が少なく採用側の企業には諦めムードが漂っている。新卒から中途採用に切替え、秋採用を検討している企業も多い。人手不足が続くと地方景気に大きな影響が出る可能性がある(新聞社 [求人広告])。

景気ウォッチャー調査 (季節調整値)

